

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」女池神明校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		1時間の定員数(3人)を守り、スペースを確保して活動しています。支援時間とスペースを工夫しています。	
	②	職員の配置数は適切である	○		4月から指導員を増員したため、適切な配置数を満たしていると感じます。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		支援スペースは視覚情報少なくシンプルにしています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		消毒を実施し、必要に応じてパーティションを動かしてスペースを確保して活動しています。活動内容によって1つのブースの範囲を広げたり、机を動かすなど、活動しやすいスペースを確保しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		必要に応じてミーティングを開き、周知・確認しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年行い、改善につなげています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		評価表の結果を集計し、玄関に掲示しています。	評価を行った後の周知に努めていきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			外部評価の実施確認をします。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修を月に一回実施し、療育の質の向上を図っています。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		モニタリングで保護者と面談し支援計画を作成している。モニタリング時期にアセスメントの作成を行っています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			太田ステージなどを使い、適宜状況を確認できるよう努めます。

の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		アセスメントからそのお子さんに必要な項目をピックアップし、具体的な支援内容を立てています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に沿った支援プログラムを組んでいます。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員みんなで案を出し合っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		同じ目標に向けて、様々なアプローチができるよう努めています。 様々な教材を使い、幼児の発達を促す活動を行っています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		集団活動については、同時刻に利用している児童と関わるきっかけや環境づくりをしています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援前に情報共有を行い、出来ていること、前回出来なかったことを把握し、次回支援につなげています。 1日のスケジュールや特記事項など朝の朝礼時に共有しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		必要に応じて気になる点などを共有して対応策を話し合っています。 退勤時間の関係上、翌日に前日の振り返りや打ち合わせを行っています。 →特記事項については当日に共有。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録し振り返り、次の支援時の行動へフィードバックを行っています。 支援記録を間隔を空けずに作成しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一回モニタリングを実施しています。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議は、児発管が出席しています。事前に指導員と児童の基本的情報など打ち合わせしています。	調整を行い、最もふさわしい者が参加できるように努めます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			今後、外部機関との密な連携に努めていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)	○		現在医療的ケアが必要なお子さんはいません。	

の 連 携		地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	現在医療的ケアが必要なお子さんはいません。	
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		相談員のサービス担当者会議打診により出席しています。そこで、支援内容や情報共有・相互理解を図っています。	
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		就学時には、共有時点での困り感や躓いている内容を具体的に伝えるよう努めています。 相談員のサービス担当者会議打診により出席しています。そこで、支援内容や情報共有・相互理解を図っています。	
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		現時点では行えていないため、職員のスキルアップのため行えるとよいです。 外部機関と連携はしているが、助言や研修は受けていないため、密な連携に努めていきます。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		コロナの感染状況をみて実施していきたいです。 きりり全体的に通常の保育園・幼稚園・認定こども園に登園しているお子さんのため、日常的に健常児と関わる機会が多いです。
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		今後、外部機関との繋がりをもつことに努めていきます。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		フィードバック時やモニタリングの際に、成長した点や今フォローが必要なところを伝え、共通認識が持てるよう努めています。 支援の15分間はお子さんの様子などの共有と時間としています。	
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		保護者同士の交流及びそこで助言や情報提供をしていくことが今後求められてくると思います。 専門家等を招いて、zoomを活用して保護者が参加できる取り組みがあると良いと思います。 時期・状況をみて行っていけるとよいです。

					相談支援では保護者支援を行っているが、ペアレント・トレーニングも組み込めるとよいです。	
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明しています。	
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画は児発管から説明をし、署名をいただいています。	
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		フィードバック時に相談された際は、現時点で出来ていることを伝え、スモールステップで次の段階にできるようになってほしいことを伝えていきます。	
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		父母の会、保護者会は行っていないため今後検討します。
	㉔	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談支援のご希望があった際は、児発管を中心に迅速に対応しています。	
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	定期的に会報を発信していないが、きらりの活動の様子をインスタグラムで発信している。	LINE やチラシを通して、行えると良いです。
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報是一つのロッカーにまとめておき、施錠をしています。個人情報は金庫に保管し施錠しています。	
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		ジェスチャー等を使い、言葉以外でのコミュニケーションを取るよう努めています。	
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後、地域に根差した活動ができるよう努めていきます。
	非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルは見やすいようにファイリングし、書庫に保管しています。
㉚		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月一回避難訓練を行い、報告書をきらりの入り口に掲示しています。	
㉛		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者からの共有をもとに、支援を行っています。	
㉜		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		おやつなどの食事は提供していません。

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		作成後回覧し、いつでも確認できるよう取り組んでいます。けがや危ない行動があった時、ヒヤリハットを作成し職員内に周知しています。	
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に一回研修予定です。	
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束についての説明を支援計画に記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」女池神明校

保護者等数（児童数）：6 回収数：5 割合：80%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	2	0	0	・運動をするにはもう少し広いスペースがあった方が良いと思う。 ・中央区なので仕方がないと思う。	必要に応じて障害物を排除して活動していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	2	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	1	0	0		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	2	2		
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4	0	0	1		

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	1	1	1		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	2	0	0	毎回最後に子供の様子を報告してもらっている。その日やったことだけでなく、子供にとっての課題や、どう接していけばいいか助言を頂けると有難いと思う。	その日の支援内容を伝える際や定期的な面談を交えてお子様に合った支援の助言を行ってまいります。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	0	3	2		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	0	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	1	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	2	0	2		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5	0	0	0		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2	0	2	1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0	0	3	2		
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	5	0	0	0		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	5	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。